

2020年度 特定演習

教 員 名	藤 沼 司
演 習 テ ー マ	<p>「協働の意味」あるいは「組織における人間問題」</p> <p>経営学は「人間協働の学」である、と言われることがある。そもそも人間は、なぜ「協働」するのか。また、なぜ「協働」が成立可能なのか。</p> <p>こうした問いと向き合うためには、経営学（特にマネジメント論および組織論）にとどまらず、広範な隣接諸分野との「知的協働」も必要となる。そのため本演習では、マネジメント論や組織論をはじめ、隣接諸分野の基礎も含めて検討したい。</p> <p>こうした基本的な問いは、経営学において、その成立の早い段階から意識されていたという意味で、古くからある基本問題である。しかもこの問題は、古く色あせた問題ではなく、組織との関わりがより緊密になるにしたがって、ますます重要性を増してきている。</p> <p>上記のテーマについて、基本的なところから問うことを目指す。</p>
演 習 内 容 ・ 方 法 等	<p>修士論文や研究調査に取り組むには、対象と真摯に向き合うことを必要とする。「向き合い方」にはいろいろなアプローチがあろうが、ここでは「1冊の本を読む」ことを通して対象との向き合い方を考えていきたい。</p> <p>そのために、読み応えのある著作、すなわち「古典」と言われるものにあたりたいと思う。どのような古典にするかは、履修希望者と相談しながら決めたいが、経営学およびその周辺で考える。</p> <p>*履修希望者は、事前に相談すること。</p>